

新人保育者スキルアップ講座

仁愛女子短期大学 幼児教育学科

本学幼児教育学科の卒業生の多くは、幼稚園や保育所などで、幼児教育・保育に携わっています。学生とは異なり、責任が伴う現場の保育者として、喜びや楽しみと共に、戸惑いや葛藤も感じていることでしょう。当センターでは、そのような卒業生が新人保育者としてさらに力を発揮していけるように、保育実践能力の向上と同期生との情報交換を目的として、毎年夏に、前年度の卒業生を対象としたスキルアップ講座を開催しています。今回も、平成26年3月に卒業した新人保育者39名が参加しました。



【クラス別分科会】

2年間を共にしたクラスの仲間、在学時にクラスアドバイザーだった先生やお世話になった先生と、お互いの近況を報告し合いました。仲間の大切さやありがたさを痛感した方が多く、「みんなそれぞれ大変だと思い、自分も頑張ろうと思った。」「色々な話が聞けて心が和んだ。みんな一緒なことを思っていることがわかり、同期を大事にしたいと改めて思った。」などの感想がありました。

日時	平成26年7月27日(日) 13:00~16:00
場所	仁愛女子短期大学
内容	①実技講習 テーマ：「新聞ボールで遊ぼう!」 講師：出村 友寛 (本学教員) ②クラス別分科会 テーマ：「友人と語ろう」 担当：本学教員

【実技講習】

今回は、本学の専任講師で、幼児教育学科の学生に体育を教えてくださっている出村友寛先生から、現場でもよく活用されている「新聞ボール」を使った運動あそびについて実践しながら学びました。さまざまな遊び方だけでなく、ボールの大きさや重さなどを子どもの発達や活動の目的に合わせていく必要性や「投げる」動作の意味など根拠や理論的な背景についても、教えていただきました。

終了後は、「新聞ボールの良いところ、悪いところを踏まえて、遊び方を考えることができた。」「投げる遊びをすることが少ないので、今後意識していこうと思った。」などの声が参加者から聞こえてきました。



(文責：青井夕貴)

幼教フォローアップ講座

仁愛女子短期大学 幼児教育学科

本学幼児教育学科を卒業して4～6年目の保育者を対象とし、保育のスキルアップ及び卒業生のネットワークづくりを目指して、今年度はじめて「幼教フォローアップ講座」を開催いたしました。卒業からこれまでの自分自身の経験を振り返り、今後さらなる保育の質の向上に向けて意欲を高めるための講座や、同期生に限らず卒業生同士や本学教員との情報交換会を実施しました。今回は、卒業して4年目が4名、5年目が1名、6年目が7名の計12名の参加となりました。



終了後、参加者からは、「日々の保育において、子どもたちを急かしたり、「こうしてほしい」と求めすぎたりしていると反省する機会になりました。」「後悔する経験の大切さ、本当に待てないのは大人ではないか、という話を聞いて、改めて自分の保育を見直すきっかけになりました。」「講義の内容はわかりやすく、参加者同士の質問タイムがあり、他者の意見を聞いて良かったです。」などのような感想がありました。

日時	平成27年2月22日(日) 13:00~15:30
場所	仁愛女子短期大学
内容	①講習 テーマ:「気になる子への対応 — 脳と行動・発達」 講師:乙部 貴幸(本学教員) ②情報交換会

講習では、本学の准教授で、幼児教育学科の学生に心理学を教えてくださっている乙部貴幸先生から、近年では現場でも注目されている「気になる子への対応」についてお話いただきました。子どもの多動性や衝動性について、心理学・脳科学の視点から捉え、その視点に基づきかかわり方を探っていくことも、子どもの特性に沿った支援や偏らない支援につながると教えていただきました。

情報交換会では、本学教員6名も加わり、お互いの近況を報告し合いました。参加者からは、結婚や引越しの報告、保育・教育での課題や葛藤などが話され、本学教員からは、新しい教員の紹介や保育への助言等がありました。



今回は12名とかなり少人数の参加となりましたが、参加者のみなさんには「また開催してください!」という声をたくさんいただきました。来年度以降もこの取り組みを継続し、徐々に参加人数を増やしながら、幼児教育学科卒業生同士や卒業生と本学とのつながりを深めていきたいと考えています。
(文責:青井夕貴)